

米軍機の安全管理の徹底等について(要請)

平成18年5月22日、第5空母航空団所属のC2輸送機から飛行中に脱出用ハッチが落下したとの連絡を受けました。

これまでに人的被害等は確認されておりませんが、人命にかかわる重大な事故につながる可能性があり、このような事故が発生したことは誠に遺憾であります。

当協議会では、これまでも機会あるごとに、飛行の安全対策等の確立を要請してきたところでありますが、県内では、航空機からの部品落下事故やヘリコプターの不時着事故等が繰り返し発生しており、県民に大きな不安を与えております。

貴職におかれては、今後このようなことが起こることのないよう、次のことについて、より一層の対策を講じることを(米軍に申し入れるよう)強く要請します。

()内は、日本側への要請に挿入します。

- 1 被害の確認や安全確保のため、落下物の捜索に最大限努力すること。また、県民の不安を払拭するため、適宜情報を公表すること。
- 2 航空機の整備点検、教育訓練の徹底等、安全管理を徹底すること。
- 3 落下原因を早急に究明し、再発防止に万全を期すこと。また、これらにつき速やかに公表すること。

平成18年5月23日

在日米海軍司令官	ジェームズ・D・ケリー少将	}	殿
厚木航空施設司令官	ジャスティン・D・クーパー大佐		
外務大臣	麻生 太郎		
防衛施設庁長官	北原 巖 男		

神奈川県基地関係県市連絡協議会

会 長	神奈川県知事	松沢 成文
副会長	横浜市長	中田 宏
副会長	横須賀市長	蒲谷 亮一
副会長	相模原市長	小川 勇夫
	藤沢市長	山本 捷雄
	逗子市長	長島 一由
	大和市長	土屋 侯保
	海老名市長	内野 優
	座間市長	星野 勝司
	綾瀬市長	笠間城治郎